

エアゾールによる定期吸入療法

(1) 有用性

- * 毎日吸入することで、気道の組織の荒れた状態を改善し気道の腫れや傷を治します。喘息発作を起こしにくくなります。
- * 五年から十年間ほど使用します。
毎日の積み重ねで気道粘膜の安定化をはかります。
- * 初期治療は一日二回からスタートします。
発作が多いときには一日三回から四回の吸入が必要です。
- * 気管支喘息では、内服薬・貼り薬・吸入薬を組み合わせで治療します。
吸入は最低三時間の間隔を空けて行います。
間隔をあけて吸入することで副作用を避けることができます。

(2) 具体的な吸入方法

- * 気管支拡張作用のあるメプチンをまず吸入します。
細い気管支を広げ、インターールが入りやすくします。

《 1回量として以下の量を使用して下さい。 》

最初に メプチン(キッド・エアゾール) : 1 噴霧
次に インターールエアゾール : 2 噴霧
1日()回 (朝、昼、夕、眠前)吸入

噴霧した薬液を大きく吸い込み3～5秒くらい息を止めます。
ゆっくりていねいに吸入して下さい。

- * スペーサーを使用すると、より効率的な吸入ができます。
ボルマチック・インスパイヤ イースなどです。
- * 気管支喘息の治療は年余に渡ります。
気長く経過を診させていただくため、定期的な受診をお願いします。
最初は一・二週間ごとで、しだいに二・三カ月ごとになります。

